

# コモンズ30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



## 基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2024年7月31日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



## 運用実績

2014年12月29日 ~ 2024年7月31日

### 基準価額

23,247 円

(前月末比)

△597 円 (△2.50%)

### 純資産総額

18.3 億円

(前月末比)

△0.6億円 (△2.97%)

### 騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△2.50%
3ヵ月	△2.43%
6ヵ月	3.53%
1年	11.36%
3年	42.68%
5年	94.98%
10年	-
設定来	132.47%

### 分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2019年12月	0円
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
2023年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



## ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	90.8
しずおかフィナンシャルグループ株式	8.2
現金等・その他	0.9
構成銘柄数	31社



## ポートフォリオの状況

### 業種別比率

機械	21.8%
化学	16.2%
電気機器	15.9%
卸売業	8.1%
サービス業	6.7%
輸送用機器	6.3%
食料品	5.1%
情報・通信業	3.7%
金属製品	3.6%
その他製品	3.4%
小売業	3.2%
医薬品	2.0%
建設業	1.0%
陸運業	0.2%
その他	2.9%

### 未来コンセプト別比率

ウェルネス	17.1%
精密テクノロジー	15.5%
生活ソリューション	12.9%
新素材	10.6%
快適空間	10.6%
資源・エネルギー	9.1%
地球開発	7.0%
未来移動体	6.3%
社会インフラ	4.4%
ライフサイクル	3.7%
その他	2.9%

## 組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	5.1%
2 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.7%
3 日立製作所	社会インフラ	インフラとITをつないで、社会課題を解決する	4.4%
4 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	4.2%
5 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	4.1%
6 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	4.1%
7 旭化成	新素材	絶え間ない事業転換を続ける伝統企業	4.0%
8 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.9%
9 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.7%
10 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.7%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



## 運用状況

### ◎運用レビュー

7月のファンドの月間リターンは▲2.50%の下落となりました。

### ◎運用責任者メッセージ

7月の内外株式市場では、米国大統領選挙でトランプ氏の優勢が強まり、世界の株式市場でトランプラリーが散見されました。特に、米国と日本では代表的な株価指数が史上最高値を更新しました。しかし、バイデン大統領が選挙戦から撤退、ハリス氏が新候補に浮上したことからラリーも収束し、月末にかけては米国の経済データも弱含み、9月利下げの見通しが強まりました。日本では、日銀が月末の金融政策決定会合で利上げを決め、為替も円安の急速な修正が起こり、日米ともに株価は下げ足を早めました。業種別では東証33業種で、医薬品、建設業、不動産業が騰落率上位、輸送用機器、電気・ガス業、非鉄金属が下位となりました。

当マザーファンドは、月間で▲2.51%の下落となりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は▲0.54%、日経平均株価は▲1.22%の下落となりました。

投資先30銘柄中、12銘柄が値上がりし、18銘柄が値下がりました。上場来高値を更新した銘柄は5銘柄、年初来高値を更新した銘柄は8銘柄ありました。

個別銘柄の月間騰落率では、マキタ+12.95%、味の素+10.46%、信越化学工業+8.18%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、LITALICO▲29.81%、ディスコ▲18.97%、エーザイ▲12.62%となりました。

株式の組入比率は97.1%と前月比▲0.2%の低下となりました。組入銘柄数は先月に続き30社となっています。

3月決算企業の第1四半期の決算は、ここまで好調です。通期計画対比で、例年よりも進捗率が5%程度高い印象です。一方で、日米の金融政策の転換が明確になったことで、世界の金融市場は大きな資金移動が起きました。8月5日は、日経平均株価の下落幅が過去最大、下落率でも過去2番目の大きさとなりました。大きな経済危機や金融危機、地政学的な出来事が起こったわけでもない中で、市場における需給バランスが大きく崩れた印象です。ここまでの大きな下落が起こると回復するには少し時間を要すると考えています。私たち長期投資家にとりましては、こうした外部環境の変化を乗り越えていく強い企業を安く買える時期になります。丁寧な押し目買いを続けていきますので、NISAの成長投資枠の対象となっている国内アクティブファンドである当ファンドを引き続き、よろしくご依頼申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

### 投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



## 新規組入投資先

なし



## 今月のピック！

### ■ (6586) マキタ

マキタは、7月30日に2025年3月期第1四半期決算発表をしました。売上高1,939億円（前年同期比+5.1%）、営業利益213億円(同+30.9%)で、前年同期比増収増益。年間計画の売上高7,100億円（前年同期比▲4.2%）、営業利益750億円(同+13.3%)に対して、好進捗の決算となりました。

昨年、欧州中心に異常気象(高温、熱波等)の影響から園芸用製品の販売が弱含んでおりました。今年も猛暑を想定する気候ですが、現時点では顕著にその影響が発現しているわけではない状況です。主力の建築市場向けの電動工具は依然欧州は金利高止まりの影響を受けているものの、一筋の光がみえつつあることも事実です。4-6月の欧州GDP速報値が前年比プラス転換し、同社の西欧地域でも現地通貨ベースでプラス転換しております。

足元、為替の円高影響が輸入コスト低下によって同社業績に優位にはたらく可能性があります。マクロ環境としては中国一極生産の状況もコロナ禍前後(直近5年程度)では分散を図られつつあります。これらの**同社をとりまく様々な環境(エリア経済、為替、生産オペレーション)**が**好転するシグナル**を感じており、今後の進捗に期待しております。

アナリスト 古川 輝之

### ■ (8113) ユニ・チャーム

ユニ・チャームが使用済み紙おむつリサイクルの実証実験を行っている、鹿児島県大崎町の「そおりサイクルセンター」を見学する機会を得ました。

現在、大崎町と隣接する志布志市においては、紙おむつ専用の回収ボックスが設置されており、そこで回収された紙おむつは回収袋ごとミキサーに投入され、プラスチック、吸水性樹脂（SAP）、パルプといった素材ごとに分離されます。そして、パルプについてはオゾン消毒したうえで、**再度紙おむつのパルプとして再利用するという水平リサイクルの実現**を目指しています。実際に消毒後のパルプを触ってもみましたが、全く臭い等の違和感も無く、通常のパルプと見分けがつかないほどでした。

この4月からはイオン九州において、この再生パルプを使用した「マミーポコ」「ライフリー」「デオトイレ」各ブランドの商品が販売開始されていますが、通常品よりもやや割高であるにも関わらず、順調な売れ行きであるとのことで、今後の広がりにも期待したいと思っています。

シニア・アナリスト/ESGリーダー 原嶋 亮介

### ■ (6501) 日立製作所

日立製作所は7月31日に2025年3月期第1四半期決算を発表しました。

第1四半期の連結業績は、連結子会社の再編影響を主因に前年同期比で減収となりましたが、**連結合計から再編影響を差し引いた主要3セクターの合計では増収増益**となりました。業績好調の主な要因は、堅調な国内外のデジタル需要を背景にDXに向けたシステム更新需要などIoTプラットフォーム「Lumada」事業が好調に推移していること、パワーグリッド（電力の送配電関連）事業、鉄道システム事業が堅調に推移していることに加えて、円安の影響などです。一方で、国内の家電事業では空調は好調でしたが白物家電は低調に推移しました。

DX/GX関連の受注高が好調に推移していることなどから、第2四半期以降の業績も堅調に推移することが見込まれます。今期が最終年度となる2024中期経営計画目標は概ね達成の見込みです。

シニア・アナリスト 末山 仁



## コモンズ投信15周年記念「感謝のつどい」スタートしました！

15周年の感謝の気持ちをお伝えし、みなさまと対話をさせていただく機会として開催している「感謝のつどい」。記念すべき初回は名古屋での開催でした！

ご参加いただいた約40名のお仲間（コモンズ投信のお客さま）と、未来について対話しました。



渋澤から15年の振り返り

最初に、渋澤と福本から、コモンズ投信の15年の歴史を振り返りました。

また、続いての渋澤の講演では、新一万円札の肖像となった渋沢栄一について触れながらお話をさせていただきました。

「意思あるお金を循環させる」をビジョンに掲げる私たちですが、きっと栄一もタンスにしまわれては嘆いてしまうでしょう。

世の中に必要なお金を回してこそ、よい世の中になっていく。

私たちは引き続き投資と寄付でお金の循環を促していくことをお伝えしました。

続いては対話タイムです。

- ① やってよかった投資、やって後悔した投資
- ② あなたにとっての「自分にも、社会にも、いい投資」を言葉にしてみましょう
- ③ 15年後のコモンズに期待したいこと、そしてその時あなたはどんなアクションをとっていますか

というテーマで、グループごとに対話を行いました。

「お金の話ができる場所ってなかなかないけれど、本当はみんな話したいものだね、というのがテーブルの皆さんの総意でした。リアルに対話することの大切さだったり心地よさを改めて感じました。」

「投資をやってるおかげで、今楽しい生活が来ているとの意見に全員共感しました！」など、グループごとに多様な意見が交わされました。

参加いただいた皆さまからの感想として

「老若男女問わず集まれるのは、コモンズさんにしかできないことだと思います。今後も変わらずこうした関わり場を築いていただきたいと思いますし、若い方をどんどん巻き込みながらコモンズさんらしいこのファミリー感がもっと広がって欲しいなと思いました。」

「渋澤さんや伊井さんらが導くコモンズ投信が今後の20-30年先も、代表らの大切な思いや考えを引き継いで、変わらない投信で投資を続けられる投信であり続けて欲しいです。」

「世間ではインデックスファンドが優勢ですが、コモンズ投信はエッジに立ちながら、アクティブファンドの良さを広めてほしいです。」

といったお声をいただくことができました。



ご参加の皆様との集合写真

このつどいは、今後もまだまだ続きます！コモンズのメンバーもたくさん参加しますので、ぜひ、皆さまお近くで開催の際はぜひご参加ください！

### 【15周年 感謝のつどいの日程とコモンズ参加メンバー】

大阪／9月14日（土） 渋澤・中村・古川

札幌／10月26日（土） 伊井・志賀・上野・齋藤

広島／11月4日（月・祝） 渋澤・原嶋・海野

京都／11月9日（土） 伊井・奥・横山

福岡／11月24日（日） 渋澤・鳥形・小暮・馬越

金沢／12月7日（土） 伊井・萩原・末山・海野

取締役マーケティング部長 福本 美帆



対話セッション後の共有タイム



### 【パニック相場にも動揺せず】

8月初旬、株式市場は久しぶりにパニック相場となりました。  
まずは、こうした局面では、賢明な投資家の言葉を借りたいと思います。  
著名投資家のバフェット氏は、かつて下落相場におけるメッセージを下記のように記しています。

### 【市場にとどまること、そして安く買うことだ。】

「このような恐ろしい時期には、二つのことを絶対に忘れてはならない。一つは、広まった不安は投資家にとっての相棒だ。なぜなら、安く買えるから。二つ目は、個人的な恐怖が自身の敵だ。それは根拠のないものだろう。財務のしっかりとした優良企業を長期的に待っていれば、ほぼ間違いなくうまくいくはずだ。」

このメッセージは、周囲に広まったパニックを恐れて株を売り始めてはいけない。そして、富を生み出す投資の秘訣は、長期的なものであることを意味しています。慌てているのは短期的な投資家や投機家です。長期的な資産形成をされる皆さんには、バフェット氏のような視点を持つことをお勧めします。

今回の下落は、米国の雇用統計で失業率などが悪化し、米国経済がソフト・ランディングでなく、ハード・ランディングすることを織り込みに入った現象です。  
つまり、これまでは米国経済は緩やかに安定成長に移行するだろうとの見立てだったものが、景気が急激に悪化するのではないかとの見立てに変化し、株式を売却する動きにつながったということです。

コモンズ投信は、このパニック的で乱暴な下落は、既に行き過ぎていると考えています。

7月後半から丁寧な押し目買いを続けています。

まさにバフェット氏の境地です。ここまで下落率が大きいと回復するには3カ月ほどかかると思いますが、ここは一緒に頑張りましょう。

引き続き、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗





## 販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○	

当ファンドは、NISA制度における「成長投資枠」の対象商品ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、各販売会社にお問い合わせください。



## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくごお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

### 基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



## その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。





## お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



## ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



## 関係法人

### 委託会社

コモンズ投信株式会社  
〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル16階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

### お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-5860-5706
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>